



広島市

図書館 だより

平成28年(2016年)夏 No. 330

- 本で知る、ヒロシマ・ナガサキ
平成28年度被爆体験継承事業のご案内・・・・・・・・・・1面
- 広島市立図書館、この10年間の取り組み
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2面
- 健康づくりサポートコーナー・・・・・・・・・・3面
- この日は何の日?・・・・・・・・・・4面
- 休館日のお知らせ7月～9月・・・・・・・・・・4面



本で知る、ヒロシマ・ナガサキ

被爆から70年以上が経ち、被爆者の平均年齢が80歳を越えました。被爆者からその体験と平和への思いを直接聞く機会が少なくなる中、被爆体験をどのようにして次世代に伝えていくかが大きな課題となっています。

記憶の風化が指摘される一方、原爆に関する本の出版数は増えており、特に昨年は被爆70周年を機に改めて被爆の惨状を伝えようと、多くの本が出版されました。しかし、これらの本も読み継がれていかなければ、やがては原爆の恐ろしさを誰も知らない時が来てしまいます。



当館は被爆地の図書館として、原爆に関する本を積極的に収集し、市民に提供しています。この先、本による被爆体験の継承がさらに重要性を増すことを考え、今年度は「原爆を伝える一次世代につなぐヒロシマ・ナガサキの本一」をテーマに本やパネルを展示します。

また関連行事として、原爆文学の研究者である詩人堀場清子氏を迎えての講演会と、初の試みとして原爆・平和に関する本を参加者が紹介しあう「本を紹介しあう会」を行います。

この機会に、被爆体験と平和への思いを次世代に伝え続けていくために、私たちができることを改めて考えてみませんか。

平成28年度被爆体験継承事業

●企画展「原爆を伝える 一次世代につなぐヒロシマ・ナガサキの本一」

平成28年7月9日(土)～8月31日(水) 会場：広島市立中央図書館 2階展示ホール

●関連行事 会場：広島市立中央図書館 3階セミナー室、対象：どなたでも

事業名	日時	定員	内容
講演会 「原爆文学はどう生まれたかーその表現と検閲ー」	7月30日(土) 14時～16時	60名	原爆文学の研究者でもある詩人・堀場清子氏に原爆文学がもつ「伝える力」について講演していただきます。
本を紹介しあう会 テーマ「平和の大切さを伝える本」	8月20日(土) 14時～16時	25名	原爆・平和に関する本を1人1冊、5分程度で紹介しあい、「平和への思いを広げていくために私たちができること」について話し合います。

申込：来館、電話、FAX、図書館ホームページ専用フォーム(7月1日(金)午前9時から受付開始)
※本を紹介しあう会については8月16日(火)まで